

## 第2回 みえ若者就労支援ネットワーク会議 議事要録

日時：平成19年 8月27日(月) 19時～21時

場所：みえ市民活動ボランティアセンター 交流スペース6・7・8

### 【出席者】(28名)

市民ネットワークすずかのぶどう	佐藤	
グローバルブレイン	佐々木	
三重県社会福祉協議会	三重県ボランティアセンター	北出
みえ市民活動ボランティアセンター	三好	
津市NPOサポートセンター	岩脇、竹村	
若者就業サポートステーションみえ	浅井、中川	
いせコンビニネット	浦田	
伊賀市社会福祉協議会	一見、寺田	
個人	三輪	
三重大学人文学部	石阪	
雇用・能力開発機構	大北	
三重県自閉症発達障害支援センター	後藤	
三重県こころの健康センター	岩樋	
三重県教育委員会高校教育室	水谷	
三重県生活部NPO室	堀木	
三重県若者自立支援センター	飯田、宇佐美、濱條	
NPO寺子屋プロジェクト	井上、大塚、岡嶋、川北、戸上、福島、馬場	

### 【配布資料】

- (資料1) 第2回 みえ若者就労支援ネットワーク会議 事項書
- (資料2) みえ若者就労支援ネットワーク(仮称)規約(案)
- (資料3) 若者就労支援キックオフイベント 進行表等
- (資料4) キックオフイベント テーマ別ワークショップ用 ワークシート(案)
- (資料5) 平成18年度資料集2 津富宏さん講演録
- (資料6) 9/9 津富宏さんの基調講演 レジюме案
- (資料7) 市民活動・ボランティアニュース(2007年9月号)
- (資料8) 各種チラシ(キックオフイベント、就労体験プログラム)

## 1. 自己紹介、お知らせ

出席者各自が自己紹介。

三重県若者自立支援センターからお知らせ。

- ・9/9のイベントは、内閣府の再チャレンジ支援セミナーと共同開催。
- ・同セミナーは全国8地区で行われ、今回のイベントは東海・北陸地区のセミナーとして、全国で最初の開催。
- ・なお、PDのパネラーとして、再チャレンジ被表彰者である富山県の川又さんが参加。

## 2. ネットワーク規約について

NPO寺子屋プロジェクトより、規約(案)読み上げ。資料2

### 【意見交換等】

団体用入会申込書は、団体として入会する形が想定されていないような印象を受ける。

団体用入会申込書の内容を見直す。

会員の役割が必ずしも明確でなく、将来的にネットワークの形骸化が危惧される。

課題が山積するなかで、本年度は検討項目を絞り込み、専門部会を設定して検討する。各会員の役割設定は、今後の課題である。

収入に関する規定が見当たらないが、財政基盤はどうするのか。

今後の課題として把握している。

会員の加入資格の基準は定められているのか。

現時点では、ネットワークの拡大を重視しているため、定めていない。第3条第3項は、将来、設定が必要になったときのために用意した条文である。

運営委員(委員長:井上、副委員長:佐藤・浦田、委員:石阪・堀木・飯田・濱條・宇佐美・岡嶋)のうち、三重県若者自立支援センターが3名となっており、多すぎる印象がある。

運営委員会にて検討する。

## 3. 9/9 キックオフイベント(ニート支援講演会)について

NPO寺子屋プロジェクトより、プログラム、役割分担、レイアウト等を説明。資料3

以下の項目について、意見交換、検討、確認。

### (1) プログラムについて

ブースは、開場(11:30)と同時に開始する。したがって、ブース開始は11:30に繰り上げる。それに併せて、受付・駐車場案内スタンバイは11:10、ブーススタンバイは11:20に、それぞれ繰り上げる。

PDのパネラーである伊藤さんは、会場へ直接来場の予定である。したがって、津駅までの出迎えは不要である。

内閣官房からは、2名来場の予定である。

「就職しま専科」の案内は、募集期間が合わないので、行わない。

## (2) スタッフについて

三重県勤労・雇用支援室は、「三重県若者自立支援センター」として参加する。

三重県社会福祉協議会は、「三重県社会福祉協議会・みえ市民活動ボランティアセンター」として参加(9/5 現在、会議では『「三重県社会福祉協議会・三重県ボランティアセンター」として参加する。』と発言)。なお、奥さんは担当が代わり、他1名参加の予定である。

いせ市民活動センターは、他に2名参加の予定である。

こころの健康センターは、岡村さんが不参加の代わりに、阿保さんが参加の予定である。

雇用・能力開発機構は、さんが参加の予定である。

## (3) 役割分担について

総合案内とアンケート回収は、別々に役割分担を設定する。これは、アンケート回収を内閣官房からの参加者が担当する予定であり、彼らが会場内で回収を行う際のサポート役が1~2名必要なためである。

PC操作は、再チャレンジ支援策説明と、講演会の際に必要となる。

PDからWSへの会場転換は大掛かりで、人手を要するため、WSファシリテーターなども可能な限り対応する。

## (4) 会場レイアウトについて

ブースの総合案内は設けるのか。

ブースのゾーン分けは設定するのか。

## (5) ワークショップについて

5~6人で1テーブルとして行う。

働き方(ワークスタイル)を問う形のワークシートを活用する。一見、分かりづらい設問もあるものの、直感的に選択してもらうことで構わない。ただし、当事者が敏感になりそうな設問は回避する。

若年無業者のなかには、どう生きていいか整理できていない人も多い。したがって、生き方探し、というテーマも良いのではないかと。

会場に長くいることに苦痛を感じる人もいるので、少人数であっても残ってくれた人を中心にサポートすると良い。疲れていそうな人は、お帰り頂いて構わないことを案内するぐらいで良い。

知らない人同士なので、コミュニケーションをとることを重視してはどうか。1時間という短時間でもあり、就労という「結果」を求めなくても良いのではないかと。その意味で、自己紹介ワークショップを行う、ということも考えられる。

## (6) その他

参加者の情報は、アンケート票の記載によって把握することとなる。

スタッフ用に、弁当(希望者実費負担、400円程度)を手配する。

13人の希望者あり。追加で希望する方は、[info@terakoya.net](mailto:info@terakoya.net) まで注文。

#### 4．専門部会のグループ分けについて

テーブルを3つに分け、参加を希望する専門部会のテーブルに着席。

『当事者サポート』検討部会 …… 7人（+欠席者2名）

『支援ネットワーク拡充』検討部会 …… 13人（+欠席者1名）

『ニート発生予防策』検討部会 …… 7人

このうち については、とりわけ内容が多岐に亘るので、2グループに分けることも検討。

#### 5．その他、次回予定について

9/9のイベントまでの連絡は、メール等で適宜実施。

第3回会議の日程調整表の提出を依頼。

以上